

Panasonic

建築設計

REPORT
ARCHITECTURAL DESIGN REPORT
vol.46 2023・08

特集——やさしいデザインと空間



石川 俊祐

Shunsuke Ishikawa [KESIKI INC. 代表取締役 Chief Design Officer]

「人起点」でデザインする
やさしさがめぐる社会

愛着がめぐる 暮らしをつくる

いま、暮らしを豊かにするのは何だろう。
自然に接觸して、ともに生きてること。
時間のかかる手仕事を、大切にすること。
ひとつひとつを、愛しながら使い続けること。
愛かさとは、こうして物事といいに向き合うなかで育まれる
豊富なはずないか」とわたしちは考えます。

創業10周年を迎えた今、愛され続けるエッセンスを残しながら
ブランドを運営するロンゲセラーを再設計。
10年前通り、愛めてきた「愛着がめぐる暮らし」を
これからも、みなさまとともに継承続けてます。

WOOD LIKE COMPANY「Re」 WYLC

CONTENTS

特集: やさしいデザインと空間

SPECIAL INTERVIEW
石川 俊祐 氏 1

SPECIAL EDITION	
HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE	
ES CON FIELD HOKKAIDO 5	
キッズラボ 北海道ボールパーク Fビレッジ 認定こども園 9	
KUBOTA AGRI FRONT 10	
きたぎんボールパーク(いわて盛岡ボールパーク) 11	
沖縄プリンスホテル オーシャンビューゲのわん 13	
わんそーれおきなわ古宇利島 15	
阿蘇くまもと空港 新旅客ターミナルビル 17	
株式会社NTTデータMSE 横浜オフィス 19	

くらしは文化	
群馬音楽センター 21	

*本誌では略称を用いています。また、一部敬称は略させていただきます。
表紙写真: ES CON FIELD HOKKAIDO

グローバル企業を中心に活用され、ビジネス上の多様な課題を解決する手法として注目を集める「デザイン思考」。しかし、そのメソッドはクリエイティブ系やエクセレントカンパニーのためのものという誤解も多いという。英国のデザインコンサルティング企業で経験を積み、IDEO(アイディオ)Tokyoオフィスの立ち上げにも参画した石川俊祐氏は、重要なのは「モノ」のデザインではなく、「人の気持ち」のデザインだという。2019年にKESIKIを創業して代表取締役を務め、多摩美術大学特任教授でもある石川氏に、ミッションとして掲げる「人や社会や地球に愛される会社をデザインし、『やさしさ』がめぐる経済の実現」の意味と展望をたずねた。

問い合わせるために デザインの世界に

—なぜデザインを学ぼうとされたのですか。

小さな時から、数学であっても国語であっても正解は一つで、それを受け入れなければならないという事に違和感がありました。ある時、英国の教育にはデザインというジャンルがあり、そこではイノベーティブに、発想の前提を問い合わせ直すことが許されていると聞きました。当時、米国カリフォルニア州に本社を置き、グローバルにオフィスを展開しているデザインファームIDEOがあり、1996年には深澤直人さんがIDEO Japanを設立されました。そこでは、さまざまな企業と、そもそも製品が、なぜこういう形になるべきだったかという「Without Thought」に取り組んでおられ、人の行動に寄り添う形でデザインを読み解いておられました。これが私が抱いていた違和感を払拭する答えかもしれない。もしかしたら自分はデザインに向いているのかもしれない、1999年に日本の大学を退学し、ロンドン芸術大学のセントラル・セント・マーチンズに入学しました。

2000年代に入って、モノづくりの生産拠点は人件費が安い中国などに移り、先進国は、モノではなくアプリ開発や運用、コンサルティングといった「サービス」をビジネスの柱にし始めました。そしてIDEOにはあらゆる業種・業態の企業から「ビジネスをどのようにデザインすれば良いか」という相談が寄せられるようになりました。そこでIDEOは、デザイナーがアイディアを生み出す際に用いている思考メソッドが、広い分野に使えることに気付きました。それを概念化したものが「デザイン思考」です。2003年に深澤氏が退社され、一旦はIDEO Japanが閉じられますが、2011年、再度日本にIDEOオフィスをオープンする計画が生まれます。IDEO Tokyoの立ち上げ当時の代表であるサンジン・リヤンさんから、突然ショートメッセージが私に来ました。その内容は「日本企業は過渡期を迎えており、機能的に良いものを作るというモノづくりが行き詰った中で、顧客との関係性をどのように築けるか」という問い合わせに立ち戻ろうとする機運が高まっている。一度、会って話さないか。会うと彼は「日本は変えられる。IDEOのアプローチで企業をイノベーティブに変え、新しい事業を生んでいく流れを一緒につくろう」と熱く話されました。



IDEO Tokyoでデザイン思考を広める

— そこで設立に参加することを快諾されたのですか。

当時、私は英国のデザインコンサルティング企業に在籍しており、ディレクターの立場でホテルや住宅をデザインする仕事のオファーももらっていました。さらに、ロンドン在住9年目で、後1年で永住権が取れるというタイミングでした。IDEOのオファーは非常に魅力的でしたが、日本企業でデザインを担当したものの、限界を感じて退社した経験もある私は、巨大な日本企業を変える大変さは身に沁みていて、本当に迷いました。結局、英国のイタリアンレストランで友人3人と「あみだくじ」をしたところ、IDEOに決まりました。面白かったのは、それでほっとした自分がいたことです。

IDEO Tokyoのチームには文化人類学者や心理学者がリサーチャーという立場で参加しており、エンジニアもいて、モノづくりもできる体制でした。グラフィック・デザイナーもインターフェース・デザイナーもいるという、しっかりとリサーチとフィールドワークを行なう会社でした。この会社に来て初めてデザイン思考というメソッドを世の中に広めていこうと心に決めたのです。

デザイン思考を構成する4つのフェーズ

— デザイン思考について簡単にご説明ください。

デザイン思考は基本的に次の4つのフェーズで構成されています。

Phase 1 : デザインリサーチ(観察／インタビュー)

インスピレーションやアイディアの種を大量に集めるフェーズ。対象となる人の「観察」と「インタビュー」など質的なリサーチ手法によって、抱えている本質的な課題や潜在欲求を探る。立証するための仮説を立てるのでなく、課題とその裏に隠れたインサイトを引き出すための叩き台となる、サクリフィシャルコンセプト(犠牲となるコンセプト)を作成し、フラットな頭で対話をする。

Phase 2 : シンセシス／問い合わせ

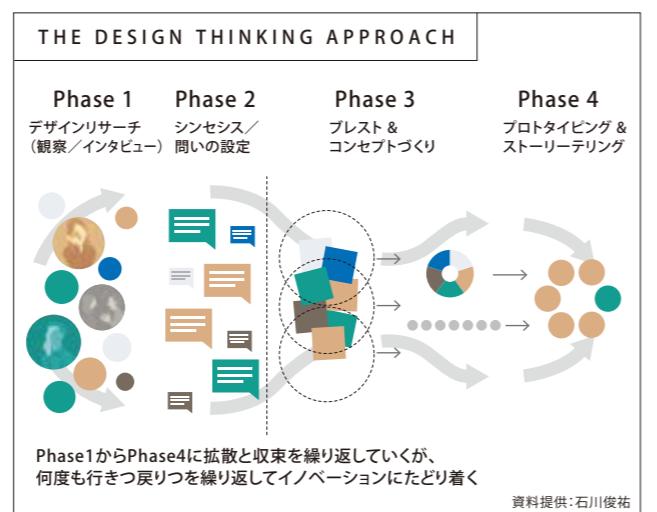
「自分たちが解くべき問題は何か」を決めて行くフェーズ。リサーチによって集まった大量の情報を整理、分類、解釈して意味付けし、どのようなプロジェクトにするかを定める。具体的には、チームの求心力となり、アイディア発想が広がりやすい質の高い「問い合わせ」をつくり、それに基づいた戦略を立ち上げる。実際にはリサーチに入る前に一度「問い合わせ」をつくって仮置きし、それをブラッシュアップしていく。

Phase 3 : プレスト&コンセプトづくり

アイディアの方向性を固め、コンセプトにまとめるフェーズ。どのようなアイディアの可能性があるか案を出し合い、膨大な選択肢を用意する(拡散)。そこで、技術的にビジネス的に成立するかを見極めながらコンセプトを絞っていく(収束)。

Phase 4 : プロトタイピング&ストーリーテリング

プロトタイプをつくり、そのアイディアを実際に触れられる体験として具体にして確認するフェーズ。プロトタイプを実際にユーザーに試してもらい、フィードバックと修正の反映を繰り返す。最終的な形が見えてきたら、どのようなストーリーで伝えていくかをまとめる。こうして並べると、非常にシンプルな思考法だと理解できますが、実際に進みると、必ずしも順番通りには進まず、非直線的で反復的です。重要なのは「人起点」という考え方で、ユーザーを「起点」としたストーリーをちゃんとつくり出すこと。探索して、結晶化して、「問い合わせ」に落として、形にして、最終的にはユーザーを主語としたストーリーにするという流れが「デザイン思考」の大きな流れです。



資料提供:石川俊祐



形だけのデザイン思考に欠けている「人起点」

— デザイン思考に課題はありますか。

日本でもデザイン思考という言葉が急速に広まりました。しかしその多くは、付箋を使ったり、拡散と収束を繰り返すという行為をまねた、デザイン思考のほんの一部を切り取っているケースがほとんどだと思います。本来のデザイン思考と形だけのデザイン思考の違いは、「人起点」か「人の気持ちを考えているか」にあります。デザイン思考は、イノベーティブな「モノ」をデザインするためのメソッドではありません。心地良さや楽しさといった「人の気持ち」をデザインするためのメソッドなのです。相手を数字で知るのではなく、共感するところから始めるべきだと思います。それは言い換えれば「やさしさ」とも言えるのではないかでしょうか。

デザインと親和性の高い文化を持つ日本

— 日本のデザインは世界から遅れているのでしょうか。

英国のデザインコンサルティング企業で働いて感じていたのは、大半の日本企業が、デザインとは見た目の綺麗さだと認識しているとの残念さでした。しかし、本来のデザイン思考という視点で見ると、日本は無尽蔵の可能性を秘めています。それは、日本はデザイン

思考と相性の良い文化を継承しているからです。日本では「デザイン思考」のようなアプローチは古代からありました。たとえば、伊勢神宮では20年に一度、社殿などすべてを新しく造り替える式年遷宮が約1300年にわたって繰り返されています。これは体験のデザインに他なりません。また解体した部品は捨てることなく、全国に配られて再利用されているという仕組みも含めて、サーキュラーでサステナブルなデザインが行われていました。日本人は基本的に、高いデザイン能力を持っていて、創造性が高く、その源泉にある観察力も鋭い。「空気を読む」というように、相手を見て、言語化されていないことを理解しますし、そうしたサービスを提供する能力も持っています。これは、旅館や茶道にも通じ、現在に継承されています。

石田三成と豊臣秀吉の出会いのエピソードに「三献茶」があります。鷹狩りの帰りに喉の乾きを覚えて近くの寺に立ち寄った秀吉に、寺の小姓はまず大きな茶碗にぬるめの茶を一杯入れて差し出します。秀吉はそれを一気に飲み干し、もう一杯所望すると、小姓は初めより小さな碗に、やや熱めの茶を出しました。秀吉がもう一杯求めるとき、熱く入れた茶を差し出したそうです。この小姓こそ石田三成で、心遣いの背後にある能力が「人の気持ちを読む力」です。

日本発のデザインでやさしい社会をつくる

— 現在取り組まれているデザインをご紹介ください。

2017年、僕はIDEOを退社し、ボストンコンサルティング・グループでイノベーション事業を手がけるBCG Digital VenturesのHead of Designを経て、2019年に仲間たちとKESIKIという会社を設立しました。それは、日本から発信する新たな事業やブランドを、人に寄り添うデザインアプローチを活用し生み出し、日本から世界をワクワクさせるムーブメントを作りたかったからです。KESIKIは「やさしさがめぐる経済をデザインする」というミッションを掲げています。「やさしさがめぐる経済」の真ん中に一つの単位として「愛される会社」を置き、人のやさしさが溢れるようなビジネスをつくり、会社がつながり、地域を巻き込んだ関係性をデザインし直せないかと考えたからです。僕たちはM&Aにも取り組んでいて、「WOOD YOU LIKE COMPANY」という創業40年を超えた家具会社を事業継承しています。家具に関して、日本の林業は衰退し、広葉樹を扱える製材所はほとんど無くなっています。このままで日本で家具を作ることができなくなります。そこで、どのように価値の再配分ができるかというところも、デザインの範疇に入れて取り組んでいます。家具だけでなく、ライフスタイルや衣食住に関わる会社と、その上流の第一次産業に遡るサプライチェーンを、30年程の長期間でデザインしようとしているのです。日本はおもてなしの国で、デザイナーとしての素質を持っている國民がいます。僕たちは、やさしさをベースにして社会や経済の仕組みをデザインの力で変革し、日本から世界へと広げていきたいと考えています。

— ありがとうございました。

HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE
ES CON FIELD HOKKAIDO



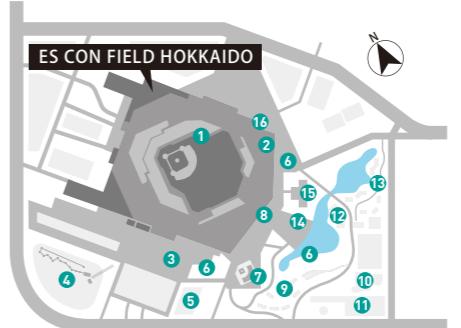
世界最大級(幅約166m)の可動屋根を開いた状態の「ES CON FIELD HOKKAIDO」。レフト外野席に5階建の複合施設「TOWER 11」が設けられている

**北海道のシンボルとなる
持続的に成長するボールパーク**

2023年3月、北海道日本ハムファイターズ
の新球場「ES CON FIELD HOKKAIDO」を
擁する、北海道ボールパークFビレッジが
誕生した。ボールパークとは、野球スタジア
ムを中心に、公園や商業施設などが複合
的に併設されている空間で、米国ではボーラー
パーク建設によるまちづくりが積極的に

行われている。Fビレッジにおいても、野球
の試合を観戦するためだけの施設ではなく、
ファンやパートナー、地域の人たちとともに
地域社会の活性化や社会貢献につな
がる「共同創造空間」の構築と、北海道の
価値・魅力を国内外に発信していく「北海
道のシンボルとなる空間」の創出がめざさ
れた。同時に、プロジェクトに賛同する、産
官学による多様なパートナーシップにより、
持続的に成長するまちづくりを追求。とく
に、地域社会の将来を担う子どもの成長
に寄与する活動に力が注がれている。約
32ha(東京ドーム7個分)という広大な敷
地には、新球場を核として、宿泊施設や商
業施設、農業学習施設、認定こども園、レジ
デンスなどが設けられた。また、試合がない
日も営業する施設が、球場内の商業施設を
はじめ、Fビレッジ各所に配置されている。

HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE



- ① Panasonic CLUB LOUNGE
- ② TOWER 11
- ③ FIGHTERS LEGENDS SQUARE
- ④ HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE ADVENTURE PARK
- ⑤ ユニ・チャーム DOG PARK
- ⑥ F VILLAGE GARDEN
- ⑦ F PLAY FIELD
- ⑧ リボビタンキッズ PLAYLOT by BørneLund
- ⑨ BALLPARK TAKIBI TERRACE ALLPARK
- ⑩ キッズラボ 北海道ボールパークFビレッジ 認定こども園・P9
- ⑪ KUBOTA AGRI FRONT・P10
- ⑫ TruffleBAKERY BAKERY & RESTAURANT
- ⑬ VILLA BRAMARE HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE
- ⑭ WIND PLAZA
- ⑮ THE LODGE
- ⑯ FIGHTERS FLAGSHIP STORE



354台の投光器制御と映像演出で 球場をエンターテイメント空間に

新球場は、世界最大級(幅約166m)の可動屋根を備えた、地下2階・地上6階建で、収容人数は約3万5千人。ビジターのファンが利用する3塁側の座席を少なくし、レフト外野席にホテルや温浴施設がある5階建の複合施設「TOWER 11」が設けられた。南面は最大高約70mの巨大なガラスウォールとなっており、日照を確保するとともに、外部空間とつなぐ役割も担っている。このガラスウォール上部と屋根固定部に2kW相当LED投光器226台と1kW相当LED投光器128台が設置されている。投光器はまぶしさが選手のプレーに悪影響を与えないように、光源からの光を絞る狭角配光とし、各投光器の照射方向を分散させることにより光の重なりを減らして光源を見上げた時のグレアを低減している。また、DMX制御により、ホームランやピクトリーなど試合のシーンに応じて明るさ(0~100%調光)と瞬時点滅を組み合わせ、照明と映像・音響が連動した演出を実現した。これを可能にしているのが、IT/IPプラットフォーム「KAIROS」と統合マネジメントシステム「S-CMS」。

「KAIROS」が多数の映像を加工し、「S-CMS」が照明・映像・音響を統合制御してコンテンツを自由な画角・解像度で大型表示装置や球場全体に設置された約600面のデジタルサイネージに配信する。

新球場の特徴は多様な観戦環境。その一つが、ベンチ間近に設けられた3塁側ラウンジ「Panasonic CLUB LOUNGE」。ここでは、パナソニックの製品・サービスを体験しながら上質な食事とともに、選手と同じ目線の高さで臨場感のある試合観戦を楽しめる。木調で照度を控えた落ち着いた空間ではダウンライト型プロジェクター「バイオシャドー」が木漏れ日の情景を映し出しており、スポットライト型ナノイーX発生機や次亜塩素酸空間除菌脱臭機「ジアイーノ」が快適な空気環境を実現。演出照明、最新の美容・健康・AV製品が置かれた、これまでにない観戦体験を提供している。

◀ (上) 354台のLED投光器による照明が天然芝を照射
(下) Panasonic CLUB LOUNGEの床面に
木漏れ日の情景を映し出す「バイオシャドー」



ES CON FIELD HOKKAIDO

所 在 地 / 北海道北広島市Fビレッジ
事 業 主 / 株式会社ファイターズ スポーツ & エンターテイメント
設 計 / 株式会社大林組、HKS
建 設 / 株式会社大林組、岩田地崎建設株式会社
総合演出創出 / パナソニックコネクト株式会社
シス템構築 / オープン / 2023年3月



屋根固定部に設置された
演色性に優れたRa90のLED投光器



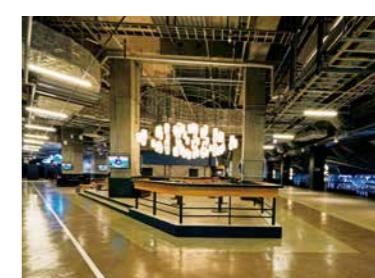
場内に約600面設置されたデジタルサイネージ

「KAIROS」を配置したコントロールルーム



試合を「観ながらエステ」が体験できる
ラウンジの窓側席

ラウンジに置かれた次世代照明「ランターナ」と
マッサージチェア



飲食ゾーンの共用部を照らすLEDベース照明

球場全体の冷暖房を担う4台の
ナチュラルチラー(吸式冷凍機)

主な納入設備

- 1kW相当LED投光器
- 2kW相当LED投光器
- LEDベース照明
- ランターナ
- バイオシャドー
- デジタルサイネージ
- KAIROS
- S-CMS
- ナノイーX発生機
- ジアイーノ
- ナチュラルチラー

お客様の声や
照明演出の動画を
ご覧いただけます





立体的な書棚があり、窓越しに砂場が見える3歳児エリア。点線内は「天井埋込形ジアイーノ」の給気口グリル

キッズラボ 北海道ボールパーク Fビレッジ 認定こども園

子どもたちの生きる力を育む環境を
あかりと空気質から支える

チームラボアーキテクツが設計した園舎は、砂場を囲むように配置された多角形の部屋で構成され、子どもが遊ぶ工夫があふれている。ここに調光機能を備えたLED照明器具とともに、「天井埋込形ジアイーノ」が採用された。認定こども園施設長の平山 拓也氏は「ジアイーノは以前の園でも使用しており、効果は実感していた。今回は天井裏に設備として設置してあるので空間全体に効果が期待でき、除菌対策として保護者の心配にも応えられる。また、温かい色合いの照明は調光機能もあり、お昼寝の時にも活用している。今後は、隣接した農業学習施設などとも連携して、Fビレッジにある施設を子どもたちと遊び尽くしていきたい」と語る。



キッズラボ 北海道ボールパークFビレッジ 認定こども園

所 在 地 / 北海道北広島市Fビレッジ
事 業 主 / 学校法人キッズラボ学園
設 計 / チームラボアーキテクツ
施 工 / 株式会社アーバンヤマイチ
電 気 工 事 / 株式会社東洋電気産業
ジアイーノ設置工事 / パナソニック建設エンジニアリング株式会社
開 園 / 2023年4月



オルガンも置いてある4・5歳児エリア



互いの気配が感じられるようにガラス扉で区切られた
2歳児エリア(手前)と1歳児エリア(右奥)



「天井埋込形ジアイーノ」の給気口グリル(左)と
リモコン(右)

主な納入設備

- LEDダウンライト
- 次亜塩素酸 空間除菌脱臭機
「天井埋込形ジアイーノ」



「TECH LAB」で栽培されているイチゴに紫外線を照射する「UV-B電球形蛍光灯」

KUBOTA AGRI FRONT



KUBOTA AGRI FRONT

所 在 地 / 北海道北広島市Fビレッジ
事 業 主 / 株式会社クボタ
設 計 / 株式会社日建設計
施 工 / 岩田地崎建設株式会社
電 気 工 事 / 株式会社関電工
オ ー ブ ノ / 2023年3月



「TECH LAB」の見学用廊下に設置された間接照明器具



小学生にも分かりやすい
学習コンテンツも提供

主な納入設備

- LEDライン照明
- UV-B電球形蛍光灯



内野席約1万2千人、外野芝生席に約8千人が収容できる野球場には、大型映像設備(スコアボード)が設けられており、イベント時にも多様な映像を表示可能

きたぎんボールパーク

いわて盛岡ボールパーク

野球をする人も、しない人も あらゆる世代の人が集うボールパーク

盛岡市の盛岡南公園内に、岩手県営野球場と盛岡市営野球場の後継施設として、2023年4月にきたぎんボールパークが誕生した。野球場は収容人数約2万人で、公認野球規則に対応した両翼約100mの人工芝グラウンド。また、敷地内には平面約50m×50mの屋内練習場があり、フットサルコート2面に対応。約275m²のトレーニングルームやボルダリングスペースも備えている。アマチュア野球からプロ野球まで、野球をする人もしない人も、あらゆる人が集まり、地域にぎわいをもたらす「ボールパーク」をめざしている。

運営に携わる盛岡南ボールパーク株式会社の場長 佐藤 学氏は「ここは、盛岡南公園内の施設なので、一年を通して幅広い人たちに開放するように運営している。野球場はプロ野球も開催される公式球場で、全国高等学校野球選手権の岩手県決勝大会の舞台でもある。また、スコアボードには映像も放映できるので、コンサートや地域の祭りにも利用してもらいたい。野球場の周囲には、1周約570mのランニング・ウォーキングコースも設けている。さらに、屋内練習場は団体だけでなく個人利用も可能。屋外で活動ができない厳冬期や雨天には、家族で体を動かすなど、幅広い人たちに使っていただきたい」と語る。



きたぎんボールパーク

所在地/岩手県盛岡市永井
事業主/盛岡市
連携協約/岩手県
管理会社/盛岡南ボールパーク株式会社
設計/環境デザイン研究所・清水建設・久慈設計
設計共同企業体
工事監理/環境デザイン研究所・久慈設計
工事監理共同企業体
建築工事/清水・菱和建設工事共同企業体
オープン/2023年4月



LED表示面約6.5m×22mのスコアボード



映像を見ながらコンテンツが操作できる
制御用タブレット



屋内練習場の休憩スペースの壁面に設けられた
ボルダリングスペースを照射するスポットライト



人工芝の屋内練習場に設置された
高天井用LED照明器具

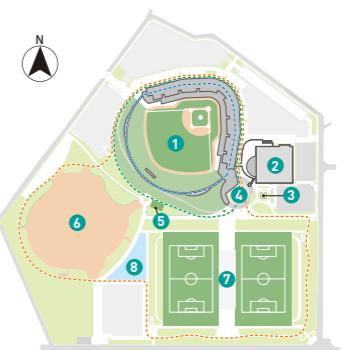


キッズスタジアム前に設置されたソーラー街路灯



1周約570mのランニング・ウォーキングコースの
壁面に設けられたスポットライト

盛岡南公園



① 野球場

② 屋内練習場

③ キッズスタジアム

④ イベント広場

⑤ かべあて広場

⑥ 多目的広場

⑦ 球技場

⑧ スケートボードパーク

ランニングコース

… Aコース 約1,550m

… Bコース 約700m

… Cコース 約570m

きたぎんボールパーク ①～⑤

主な納入設備

- スコアボード
- 高天井用LED照明器具
- LEDベース照明
- LEDスポットライト
- LED街路灯
- 照明制御システム
- 統合監視システム
- 常用放送設備
- ITV設備
- 設備時計



時間によって間接照明とダウンライトによる調光演出が行われる1階ロビー

沖縄プリンスホテルオーシャンビューぎのわん

海辺で移ろう時間を楽しむために 工夫が凝らされたリゾートホテル

沖縄プリンスホテルオーシャンビューぎのわんは、宜野湾港マリーナに面したリゾートホテル。空港から車で約30分、「ぎのわん海浜公園」や「沖縄コンベンションセンター」へも徒歩圏という、観光に加えてリゾートMICE*としても発展が期待されている立地。14階建のホテルは、全340室がテラスを備えたオーシャンビューとなっており、珊瑚礁に夕日が沈むサンセットの時間が楽しめるように設計されている。また、エントランスやレストランでも時間の移ろいを楽しめるように時間帯によって照度を変えることで雰囲気を変える

自動調光演出が行われている。

ホテルのマーケティング担当の近棟 隆一氏は「宜野湾市は沖縄の中部に位置しており、北部や南部へのアクセスも便利。すべての客室がオーシャンビューなので、沖縄の言葉で『アコークロー』と呼ばれる、夕方のマジックアワーを楽しんでいただける。エントランスとレストランでは、現場の責任者が朝・昼・晩と雰囲気を見ながら照明シーンを記憶させて設定。照明演出によりリゾートにふさわしい華やかな空間を創り出した。ぜひ、沖縄観光のアクティビティ拠点として、またゆったりとした時間を楽しむ滞在型リゾートホテルとして利用していただきたい」と語る。

*会議(Meeting)、研修旅行(Incentive Travel)、国際会議(Convention)、展示会・イベント(Exhibition/Event)の頭文字を取った、ビジネスイベントなどの総称



沖縄プリンスホテル オーシャンビューぎのわん

所在地/沖縄県宜野湾市真志喜
運営/株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド
運営形態/ケネディクス株式会社との定期建物賃借契約
設計/清水建設株式会社一級建築士事務所
施工/清水・松村 特定建設工事共同企業体
電気工事/株式会社関電工
開業/2022年4月
規模/地上14階建、延床面積:約29,211m²

時間によって調光演出が行われるレストラン
「オールディダイニング ジノーン」紅型作家によるデザインで彩られた
レストラン壁面

ピュッフェコーナー上部の丸型ペンダントライト

ホテル最上階に位置する70m²のテラスを備えた
「ザ・クラブ スイート」

1階エレベーターホールのコニス照明



壁が紅型のデザインで彩られたキッズルーム



スエベリアフロア客室のバスとレストルーム



防災センターに設置された、空調・防災・非常放送など、各種ビルシステムの自立盤

主な納入設備

- LED建築化照明器具
- LEDダウンライト
- LEDペンダント
- 照明制御システム
- 空調システム
- ITVシステム
- 中央監視システム
- 防災システム
- 非常放送設備
- ユニットバス
- アラウーノ



赤い琉球瓦に犬のシーサーを載せた沖縄らしいホテル棟(右)とカフェ棟(左)

わんそーれおきなわ古宇利島

木造建築に琉球赤瓦を頂いた 海が見えるドッグカフェ & ホテル

世界遺産に登録された沖縄県やんばる地域に近い古宇利島は周囲約8kmの島。古宇利大橋が2005年に完成したことにより、古宇利島は多くの観光客が訪れる場所となった。そこに2023年4月にオープンしたのが愛犬と一緒に過ごせる、プライベートドッグランを備えた宿泊施設「わんそーれおきなわ古宇利島」。平屋のホテル棟(78m²)とカフェ棟(76m²)で構成されており、ホテル棟では約5×10mの吹き抜けLDKとオシャンピューカーの大開口が開放的な空間を創り出している。株式会社なんくるない社の代表取締役

甲斐 賢吾氏は、「沖縄では台風やシロアリの被害が多いため木造建築は少ない。今回は琉球瓦を載せた沖縄らしい施設にしたかったが、木造では強度も不足。温かい雰囲気を出したかったのでRC造や鉄骨造は避けたいと設計事務所に相談したところ、テクノストラクチャー工法を紹介された。海の近くなので風も強いが、木と鉄の複合梁テクノビームを用いることで大開口のサッシによる海の展望が確保でき、構造計算により強い風にも耐えることが分かり、安心して宿泊していただける施設ができた。会員制で運営しており、“愛犬とここに泊まるために沖縄に来た”と言われる施設をめざしている」と語る。

わんそーれおきなわ古宇利島

所 在 地 / 沖縄県国頭郡今帰仁村古宇利
事 業 主 / 株式会社なんくるない社
設 計 / studi code 一級建築士事務所
施 工 / 株式会社ジーアール
竣 工 / 2023年4月
建 築 工 法 / テクノストラクチャー工法



梁を現しにした広々とした空間をアップライトで照らしてリゾート感あふれるシーリングファンを配置。テクノストラクチャー工法で実現できた大開口サッシ越しに海が望める



別室の寝室を利用することで計4名が宿泊可能



犬に配慮して設けられた腰板
コンセントも高い位置に設置



シーサーなどが飾られたカフェ



瓦屋根を支え、強風にも対応するテクノビーム
(工事中写真)

主な納入設備

- 内装建具
- 造作材
- 洗面化粧台
- LED照明
- Lシーリングファン



梁間にシーリングライトを設置し、遠方から光源が見えないように配慮した1階国内線チェックインロビー

阿蘇くまもと空港 新旅客ターミナルビル

航空旅客の居心地をデザインした 九州のセントラルゲートウェイ

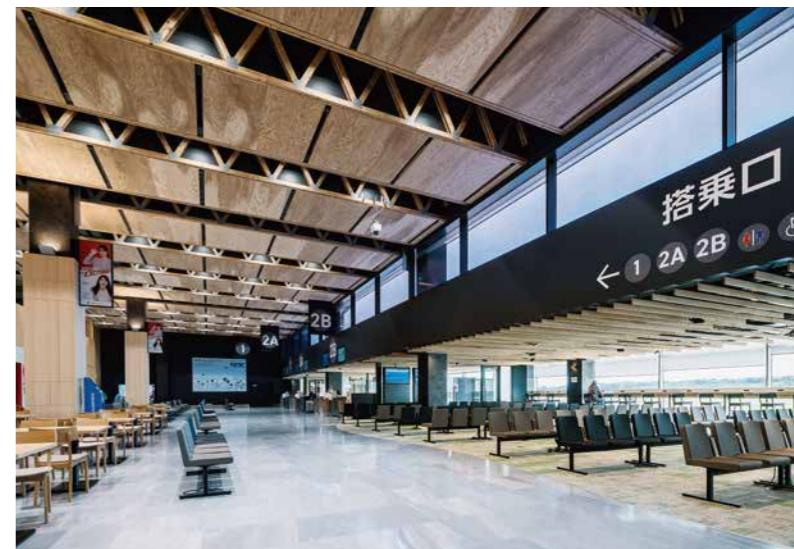
阿蘇くまもと空港の運営業務を民間委託されている熊本国際空港株式会社は、国内線・国際線共用の新旅客ターミナルビルを2023年3月に供用開始した。建物は、熊本城の黒漆・漆喰をイメージした陰影のあるデザインで、内装には熊本城の石垣や加藤清正の家紋などをモチーフに採用。鉄骨ラーメン構造の躯体は構造体を軽くするために柱スパンを広げ、開放感のある空間も実現。熊本県産小国杉をふんだんに使った木トラス天井が意匠性の高い吹き抜け空間を創り出している。国内線は白を基調として、チェック

インロビーでは梁間にシーリングライトを設置することで光源が見えないように配慮。保安検査後のエリアには、ゆっくり寛げる物販・飲食店舗を整備し、搭乗直前までの時間を食事や買い物で楽しめるように計画された。ラウンジでは広々とした空間に約200席を配し、ワーカーのための個室ブースや会議室も用意してビジネスユースに対応。さらに、国際線は黒を基調としたデザインで、出国審査場の通過後には、店舗面積が従来の10倍を超える免税エリアを整備し、ホテルライクな空間を創出している。2024年秋には商業ゾーンの拡充と広場整備により、熊本地震からの「創造的復興」を加速していく計画という。



阿蘇くまもと空港 新旅客ターミナルビル

所在地／熊本県上益城郡益城町
事業主／熊本国際空港株式会社
設計／日建設計・桝設計 設計監理共同企業体
施工／大成建設株式会社
商業内装環境／株式会社ディ・プレイン研究所
開業／2023年3月
造／鉄骨造 地上4階建
延床面積／約37,800m²



2層吹き抜けの出発階には木トラス天井に地元の熊本県産小国杉を使用。
低天井の待合スペースはグレアレスシーリングライトにより光源の存在を抑えている



間接光とブラケットが重厚感を高めた
「Lounge ASO」



店舗面積が格段に広くなった国際線免税エリア



足元に間接照明が設けられた展望デッキは
間近で見送りができると利用者にも好評



軒下に防湿防雨シーリングライトを設け
植栽もライトアップ

主な納入設備

- LEDシーリングライト
- LEDウォールウォッシャ
- LED建築化照明
- LEDブラケット
- LEDスポットライト
- 照明制御システム



執務室の横に配置されたイノベーションルーム。背後にあるのが「メルティカフェ」。設置された2台の「ランターナ」はインテリアに合わせた黒。隣の執務室には白タイプを8台導入

株式会社NTTデータMSE 横浜オフィス

コミュニケーションの可能性を広げる 次世代照明「ランターナ」

「情報技術で新しい価値を生み出し、豊かな未来社会の創造に貢献する。」を経営理念に、モビリティ社会に貢献する車載事業やIoT、スマートアプリ、ウェブサービスなどの開発を進める株式会社NTTデータMSE。その横浜オフィスに、10台の「ランターナ」が採用されている。「2016年に横浜オフィスを開設した際に、コミュニケーションのあり方を変え、イノベーション活動を推進しようと、執務室とは別に広々としたイノベーションルームを設けた」と、オフィス改革チームのスタッフ。「テレワークではオンラインで自分らしい働き方ができ、オフタイムにはプライベート

も充実した。半面、オフィスにおけるインフォーマルなコミュニケーションや共創的な空間が失われた。そのオンとオフの時間を『溶けさせる』、新しい働き方に取り組んでいる。ワークショップを行う際には、レイアウトを変えて対話を活性化させ、多くのアイディアを共有する必要がある。その際に、動かせる『ランターナ』や『イーブロック』が役立つ。オフに近い時間では、カフェカウンターに『ランターナ』を設置して自己紹介を映し、部署を超えた雑談が生まれる環境をついている。ここは共創空間で、すべての机と椅子は可動式。『イーブロック』と『ランターナ』の組み合わせは、オフィスのイノベーションとコミュニケーション進化に欠かせない」と語る。



■ランターナ導入
所 在 地／神奈川県横浜市神奈川区金港町
事 業 主／株式会社NTTデータMSE
設 置／2023年4月

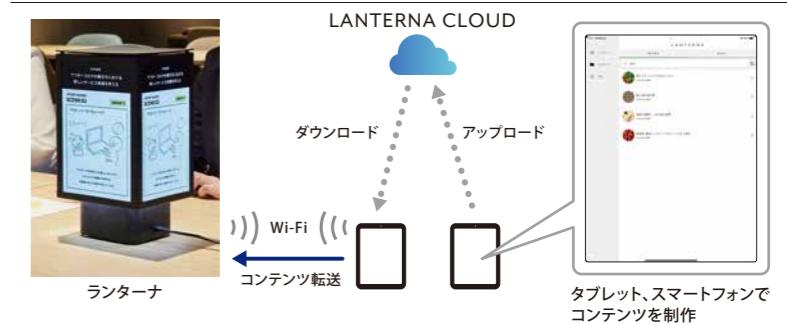


ワークショップでアイディアやプロトタイプを表示する「ランターナ」は人の輪の中に置けるので、メンバーとの距離も縮まり会話が弾む



「メルティカフェ」で社員などの自己紹介を流す「ランターナ」がコミュニケーションを活性化する

コンテンツ更新システム図とアプリケーション画面



主な納入設備

- ランターナ
- イーブロック
- イーブロックスタンド
- イーブロックステーション

ウェブサイトでも
ご覧いただけます



群馬音楽センター

市民の熱意に触れ、近代建築の巨匠が建てた音楽の殿堂

群馬県高崎市の群馬音楽センターは昭和36(1961)年竣工。高崎市民などによる建設運動に共感した建築家、アントニン・レーモンドが設計した。日本で長く活躍したA.レーモンドの代表作であり、近代建築の傑作の一つとされる。公共建築百選。DOCOMOMO20選。



稲妻のようなフォルムの照明が美しい群馬音楽センター。客席(1,960席、竣工時)と舞台(1)の合計は1,961。これは竣工年を表していた。



蛇腹状の折板と約60mの大開口がダイナミックな外観。剛性に優れた折板構造の特性を生かした屋根は厚さわずか約12cm、壁は約25cm。



屋根を支える引張材が見える。壁と屋根が描くアーチは同一平面上ではなく前方(写真右)に傾斜しているため、舞台側に引っ張り、転倒を防止。舞台側末端は建物後面のバットレスに定着させている。



ホール天井。合板の裏に設置した間接照明が折板を照らしている。ここにも転倒防止の引張材の一部が見えている。



2階ホワイエ。外観で目を引くコンクリート打ち放しの折板壁は館内でもその蛇腹状の形を見ることができる。



ホール内の折板壁は内側に約12.6度傾いている。両壁側の階段は途切れることなく花道のように舞台へと続いている。



ロビーと2階を結ぶ階段は踊り場の下に支柱を必要としない設計で造られた。折板の直線的な表情に対して、階段は曲線的なデザイン。らせんを描くように延び、手すり周りを円形、三角形などの幾何学模様が彩る。



2階ホワイエを飾る、A.レーモンド自筆の原画をもとに描かれた世界最大級のフレスコ壁画『リズム』。ガラス窓に沿って並ぶベンチのデザインはレーモンドとノエミ夫妻が手がけた。

群馬音楽センターは高崎城址の石垣や木々を間近にして建ち、紙を蛇腹に畳んだようなRC造で折板構造の外壁・屋根、ガラス窓の大開口ファサードなどが来館者を迎える。

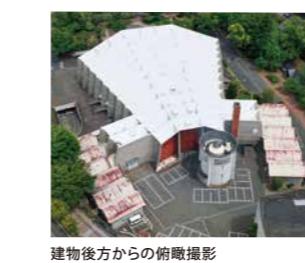
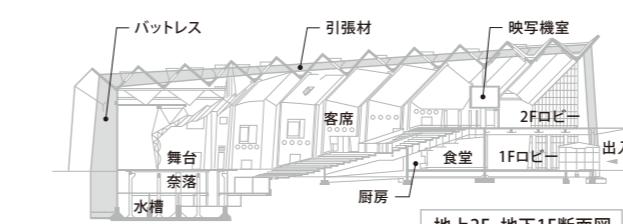
近代建築の先駆者、A.レーモンドは、高崎市の実業家・井上房一郎との出会いを通して設計を受けた。当時、音楽センター建設を熱望する人々は資金の寄付などの運動を取り組んでいた。設計に際しては、クラシック音楽向けの上質なホールであることはもとより、歌舞伎などの古典演劇が上演可能であることを求められたため、2つの設計案を経てそれらを

実現する最終案に至った。

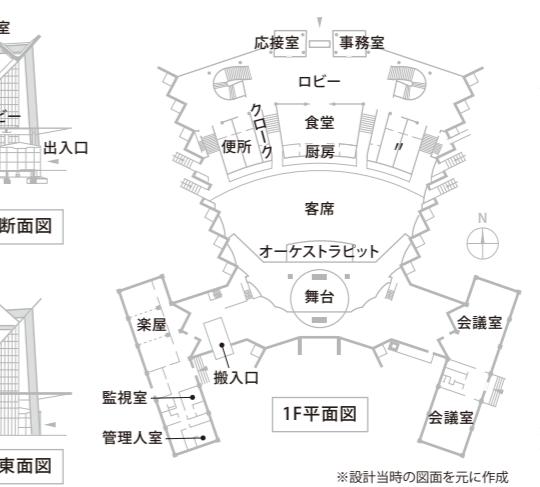
折板構造の蛇腹の形は天井や壁となって館内にもそのまま現れている。ホールでは、折板の凸部を間接照明で照らしてアーチ状の、見る角度によっては稻妻のような光の帯をつくりだした。ホールは扇形をした無柱空間であり、この光のアーチによって視線が舞台へと誘われる。2階席などは設けず、全客席を同一面に配置したことや、両壁側の階段を歌舞伎の花道のように舞台につなげたことも観客と演者・舞台の一体感を狙ったためとされる。

折板は仕上げ材を使用しないコンクリート打ち

放しとして建設費を抑える一方、ホール内では吸音や残響を考慮して合板や反響板を設置している。また、屋根の厚さがわずか約12cmであるように、折板構造の採用によってコンクリート・鉄筋使用量が大幅に少なく済んだことも限られた資金による建設を支えた。当音楽センターは、A.レーモンドの設計理念「自然に。より単純に。より直截に。より経済的に。ここから」に基づいて設計された。そして、建設前から現在に至る60年余の長きにわたって多くの人々に愛され、活用されている貴重な建築物である。



建物後方からの俯瞰撮影
壁と屋根が描くアーチは前方に傾斜している



用語説明
【公共建築百選】旧建設省が公共建築の意義、重要性について理解を得るために、市民に親しまれ、地域に根ざした優れた公共建築(昭和23年以降の建築)から選定。

【DOCOMOMO】モダン・ムーブメントにかかる建物と環境形成の記録調査及び保存のための国際組織。DOCOMOMO Japanは、日本の近代建築の再評価のための活動などをを行う。

【井上房一郎】高崎市の文化振興に寄与。群馬交響楽団の創設、群馬音楽センターなどの設立に尽力した。

群馬県高崎市高松町28-2
協力: 公益財団法人 高崎財団、
株式会社レーモンド設計事務所



パナソニックの空間ソリューション WEBサイト

<https://www2.panasonic.biz/jp/solution/>



パナソニック ショウルーム <https://sumai.panasonic.jp/sr/>



札幌 〒060-0809 札幌市北区北9条西2丁目1番地
☎ 0800-170-3820

仙台 〒980-0014 仙台市青葉区本町2丁目4番6号
仙台本町三井ビルディング1F
☎ 0800-170-3830

東京
(汐留) 〒105-8301 東京都港区東新橋1丁目5番1号
パナソニック東京汐留ビルB2F
☎ 0800-170-3840

横浜 〒221-0056 横浜市神奈川区金港町2番6号 横浜プラザビル1F
☎ 0800-170-3841

名古屋 〒450-8611 名古屋市中村区名駅南2丁目7番55号
☎ 0800-170-3850

大阪 〒540-6303 大阪市中央区城見1丁目3番7号 松下IMPビル3F
☎ 0800-170-3860

広島 〒730-8577 広島市中区中町7番1号
☎ 0800-170-3870

福岡 〒810-8530 福岡市中央区薬院3丁目1番24号
☎ 0800-170-3880

パナソニックのバーチャルショウルーム <https://sumai.panasonic.jp/webst/>



パナソニック エコシステムズ ショウルーム <https://panasonic.co.jp/hvac/pes/showroom/>

〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番



パナソニックセンター東京
<https://holdings.panasonic.jp/corporate/center-tokyo.html>
〒135-0063 東京都江東区有明3丁目5番1号
☎ 03-3599-2600



カスタマーエクスペリエンスセンター (パナソニック コネクト株式会社)

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/about/who-we-are/experience/customer-experience-center>

〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目21番1号
住友不動産汐留浜離宮ビル
☎ 0120-878-410



※開館日や時間を変更したり、事前ご予約制とさせていただく場合があります。
ショウルームご来場の際には、ウェブサイトで事前にご確認ください。

お問い合わせ

📞 (06) 6908-1131・大代表



パナソニックのソリューションに関するお問い合わせはこちら ➡
<https://www2.panasonic.biz/jp/support/confirmation.html?solution>



継続能力開発(CPD)
自習型認定研修

● 設問 ●

次のうち誤っているものはどれか。

- a. 北海道ボールパークFビルは、北広島市にある。
- b. 遠赤外線にはイチゴの免疫機能を活性化させる効果がある。
- c. 近年の沖縄では台風やシロアリの被害が多いため木造建築は少ない。

関連情報は本誌に掲載されています。

建築士会CPD制度の回答は下記WEBサイトから。
<https://www.kenchikushikai.or.jp/cpd-new/cpd-index.html>
この情報誌は、公益社団法人 日本建築士会連合会の継続能力開発(CPD)の「自習型認定研修」教材として認定されています。

皆様のご意見をお聞かせください

皆様のお役に立てるよう、『建築設計REPORT』の編集内容をより充実させていきたいと考えています。下記サイトにアクセスいただき、5問程度のアンケートにご協力ください。



抽選で10名様に石川 俊祐 氏の著書、『HELLO, DESIGN 日本人とデザイン』を差し上げます。

【応募締切】2023年10月31日(火)



アンケートはこちら ➡

<https://www2.panasonic.biz/jp/solution/report/archi/qa/>